

南海鉄道 クイシニ系 電動車 形式図

1924年にデビューした木造時代の豪華電車

大阪～和歌山を結ぶ急行用で、食堂や特別室をそなえた貫通式4輦編成という、当時としてはきわめて進歩的なもの
浪速、和歌山、住吉などの列車名までつけて活躍

別ページのもの木造急行電車を代表するクイシニ、と呼ばれた車輛で、その記号が示すように、先頭から小荷物室、特別室、食堂を合造した制御車
窓下に帯をまき、図には示していないが、列車名のついた車輛には腰羽目に大きなネームプレートを取付けていた

ヘッドライトの位置もまた印象的

このページの図はその電動車で窓配置などから平凡な感じを受けるが、両端が貫通になっているのが何よりの大きな特徴

これにも列車名のある車輛は、大きなネームプレートを取付けていた

台車はクイシニがボールドウィン、モハはボールドウィン及びブリルMCB(図示)を使用

メーカーは全部川崎造船兵庫工場である

この一族は他にクハもあり、合計40輦を数えたが、鋼製車時代に入ってから格下げされ、種々の改造、変動を経て晩年を迎えた

この図面は南海鉄道の、おそらく最終計画図と思われるものより作図したもので、ベンチレータなどは現車と異なる

現車に合わせて修正することもできたが、細部に変化があった場合、図面として統一を欠くおそれがあるため、あえてそのままとした

しかし南海クイシニの誕生当時をしのぶことはできよう

